

氏名	岡部 玲子
所属と職位	つくば国際短期大学 基幹教員
主な資格と学位	<p><資格> 中学校教諭一級普通免許(音楽) 高等学校教諭一級普通免許(音楽)</p> <p><学位> 博士(学術) お茶の水女子大学</p>
プロフィール	<p><学歴> お茶の水女子大学文教育学部音楽科ピアノ専攻卒業。同大学院修士課程人文科学研究科ピアノ演奏学専攻修了、文学修士。同大学院博士課程人間文化研究科比較文化学専攻修了、博士(学術)。</p> <p><職歴> お茶の水女子大学文教育学部非常勤講師。常磐短期大学幼児教育学科非常勤講師。常磐大学人間科学部教授、同教育学科長。つくば国際短期大学保育科非常勤講師。</p>
研究分野 研究テーマ	<p>ショパンのエディション研究、ピアノ演奏</p> <p>ショパン、楽譜、演奏表現、ヴァリアントの選択、即興的表現、ショパン国際ピアノ・コンクール、ショパン国際ピリオド楽器コンクール</p>
主な所属学会	日本音楽学会、日本音楽教育学会
主な担当科目	幼児音楽Ⅱ、幼児音楽Ⅲ、音楽表現実践演習Ⅰ、音楽表現実践演習Ⅱ
主な著書・論文	<p><著書> 単著『ショパンの楽譜、どの版を選べばいいの? -エディションの違いで読み解くショパンの音楽』ヤマハミュージックメディア 2015/ 共著『コードでかんたん! ピアノ弾き歌い 80』圭文社 2014/ 分担「手遊び歌」『児童文化の中に見られる言語表現』大学教育出版 2014(pp.36-61)</p> <p><論文> 共著(筆頭)「第 18 回ショパン国際ピアノ・コンクールにおける演奏者のヴァリアントの選択」『つくば国際短期大学紀要』第 48 輯: 29-60, 2022.8/ 共著「ショパンの作品におけるヴァリアントの選択」『奈良佐保短期大学紀要』第 28 号: 1-16, 2021.3/ 共著(筆頭)「明治期における日本人によるショパン作品の演奏曲および演奏形態の変化」常磐大学『人間科学』第 37 巻第 1 号: 15-30, 2019.9/ 共著(筆頭)「フリデリク・ショパン国際ピアノ・コンクールにおけるエディションの選択とその変化」常磐大学『人間科学』第 35 巻第 2 号: 15-28, 2018.3/ 単著「小学校音楽科歌唱共通教材ピアノ伴奏および弾き歌いの指導法に関する一考察 ~ピアノ未経験者に『バイエル教則本』を有効に用いる指導法」常磐大学『人間科学』第 35 巻第 1 号: 11-21, 2017.9</p> <p><国際学会口頭発表> 共同(代表) Performance Styles of Chopin's Music by Japanese Musicians during the Meiji period, International Chopinological Conference 2018, Warsaw 2018.9.28</p> <p><演奏会> ピアノソロリサイタル(1992,1993,1995,1997,2005,2008,2014, 2015,2020)、2台ピアノリサイタル(1989,1994,2002,2003)、ピアノ協奏曲(1982,2006)、室内楽(1982,1995,2001,2005,2006,2007) 他</p>
主な社会活動	(一般社団法人)全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)本部メディア委員、同つくば支部事業推進委員、同つくば sola ステーション代表。ヤマハ公開講座講師。茨城県芸術祭実行委員、同「県民コンサートⅠ」実行委員長。各種ピアノ・コンクール審査員。ピティナピアノステップアドバイザー。